

環境経営レポート

株式会社 大翔テック

2023 年度 第 21 期

(対象期間: 2023 年6月1日～ 2024 年5月31日)



エコアクション21
認証番号 0006015

発行日: 2024年8月19日

目 次

項 目	ページ
あいさつ	2
環境経営方針	2
組織の概要	3
事業・製品の紹介	3
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	4
主な環境負荷の実績	5
環境経営目標及びその実績	5
環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の計画	6
事業所の取組紹介	9
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無	10
緊急事態対応訓練	10
代表者による全体の評価と見直し・指示	11



奈良県浄化センター 分散型電源源
(DG3000KVA)



バイオディーゼル燃料「SDF」の製造装置

口ごあいさつ

古墳や古い街並みが残る松原市で、金属加工製造業を営んでいます。
かけがえのない地球・文化を守るために環境問題が重要課題であることを深く認識しあらゆる企業活動において、環境保全活動に継続的に取り組みます。

環境経営方針

株式会社大翔テックは、本業であるプラント工事を通じて、人材の育成、製造の効率化の推進を通して、地球温暖化問題への取り組みや地域の環境活動に自主的・積極的に取り組みます。

地域のインフラ、環境保全活動に積極的に参画し、環境に配慮した経済活動を以て、従業員の安全作業の推進と健康を第一に地域社会の発展と地球環境保全を目指して、従業員一丸となって継続的に改善活動に取り組んでまいります。

環境保全への行動指針

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 脱炭素化社会に向けて電力や燃料の二酸化炭素排出量の削減に努めます。
3. 廃棄物の発生抑制につとめ、建設副産物のリサイクル率の向上に努めます。
4. 水資源の有効利用のため水の削減に努めます。
5. 環境に配慮した安全工事の推進に努めます。
6. 技術の継承、人材育成の取組みを推進します。
7. 地域や関係団体の環境活動に積極的に参加します。



制定日：2021年4月1日

改定日：2023年6月1日

代表取締役社長

樋口 馨

組 織 の 概 要

- (1) 名称及び代表者名
株式会社 大翔テック
代表取締役社長 樋口 馨
- (2) 所在地
本 社(登記上) 大阪府大阪市住吉区長居2丁目8番19号 (登記上の住所につき環境負荷はありません)
工 場 大阪府松原市小川6丁目1-12
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者・担当者 技術部長 辻本 隆之 TEL: 072-339-7015
- (4) 事業内容
各種金属の設計・加工(曲げ、切断、溶接、機械加工)、
環境関連機器・産業機械の設計製作
- (5) 事業の規模
2023年度 売上高 2億1600 万円
- | | 本 社(登記上) | 工 場 | 合 計 |
|----------------------|----------|----------------------|----------------------|
| 従業員 名 | 登記上 | 8 名 | 8 名 |
| 延べ床面積 m ² | 登記上 | 422.8 m ² | 422.8 m ² |
- (6) 事業年度 6 月 1 日 ~ 5 月 31 日

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名: 株式会社 大翔テック
対象事業所: 本 社(登記上)
工 場
対象外: なし
活動: 各種金属の設計・加工(曲げ、切断、溶接、機械加工)、
環境関連機器・産業機械の設計製作

□事業の紹介

- 主な事業の紹介
- ・機械器具設置・管工事業
大阪府知事 許可(般-16)第123195号
 - ・公共下水処理場 プラント機器製作
 - ・公共下水処理場 自家発電設備 設計製作
 - ・ガスプラント装置 製作設置

納入実績 事例紹介



ガスタービン発電装置
1500kVA



ガスタービン発電装置
2500kVA



ガスディーゼル発電装



エンジン排気ダクト



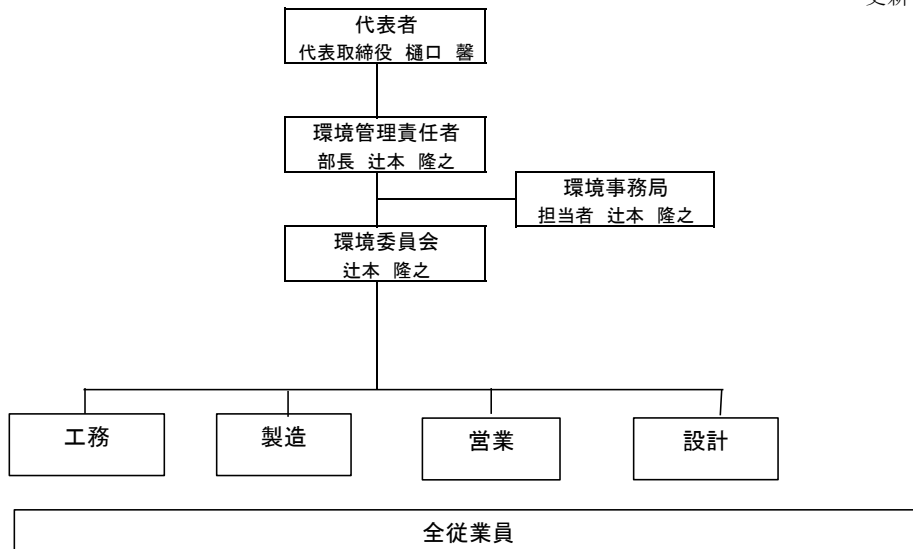
液体式アセチレンガス清浄装置



非常用電源装置
6000kVA

環境経営組織及び役割・責任・権限

更新日：2021年4月1日



	役割・責任・権限
代表者(社長)	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し、指示 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
環境委員会	・環境経営計画の審議 ・環境活動実績の確認・評価
部門長	・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・時部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 ・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 ・試行・訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

主な環境負荷の実績

項 目	単位	2020年度	2021年度	2023年度	
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	工場移転により	22,190	12,501	
Scope1（化石燃料）	kg-CO2	負荷比較なし	7,432	6,412	
Scope2（電力）	kg-CO2		14,757	6,089	
廃棄物排出量					
一般廃棄物排出量	kg		400	365	
産業廃棄物排出量	kg		7,600	0	
水使用量	m ³		78	54	
※関西電力【A0272】F残渣		0.311			kg-CO2/kWh
※電力の二酸化炭素排出係数（調整後）		関西電力			
※R3年度実績R5.5.26一部修正、R5.7.18一部追加・更新を使用					

環境経営目標及びその実績

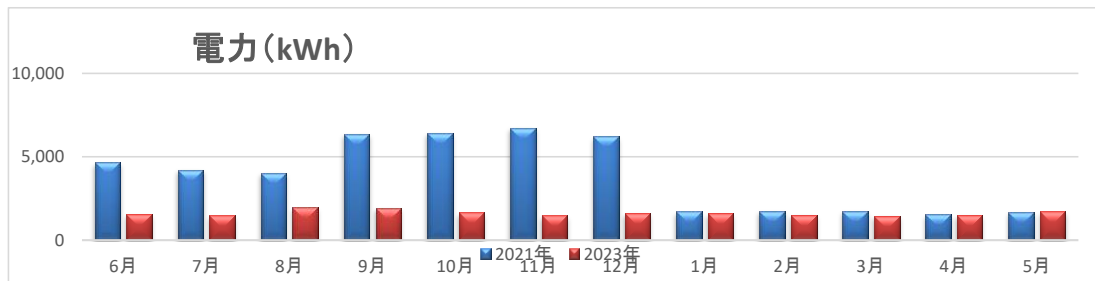
年 度		2021年	2023年度		評 価	2024年度	2025年度
項 目		(基準値)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kWh	47,451	46,502	19,580	○	45,553	45,078
	基準年度比		98%	41%		96%	95%
	売上高原単位	0.201	0.197	0.090	○	0.193	0.191
	kg-CO2	14,757	14,462	6,089		14,167	14,019
	基準年度比		98%	41%		96%	95%
売上高原単位	kg-CO2/千円	0.063	0.061	0.028	○	0.060	0.059
LPGによる二酸化炭素削減	kg-CO2	5	4	4	○	4	4
	基準年度比		99%	99%		96%	95%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO2	7,426	7,352	6,406	○	7,203	7,129
	基準年度比		99%	87%		97%	96%
上記二酸化炭素排出量合	kg-CO2	22,188	21,818	12,499		21,375	21,153
一般廃棄物の削減	kg	400	372	365	○	372	360
	基準年度比		93%	91%		93%	90%
金属くずの削減	kg	1,200	1,188	1,000	○	960	840
	基準年度比		99%	83%		80%	70%
水道水の削減	m ³	78	77	54	○	72	70
	基準年度比		99%	69%		92%	90%
環境に配慮した安全工事の推進	行動目標（次項による）						
技術の継承と人材育成の取組み	行動目標（次項による）						

環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の計画

数値目標: ○達成 ×未達成

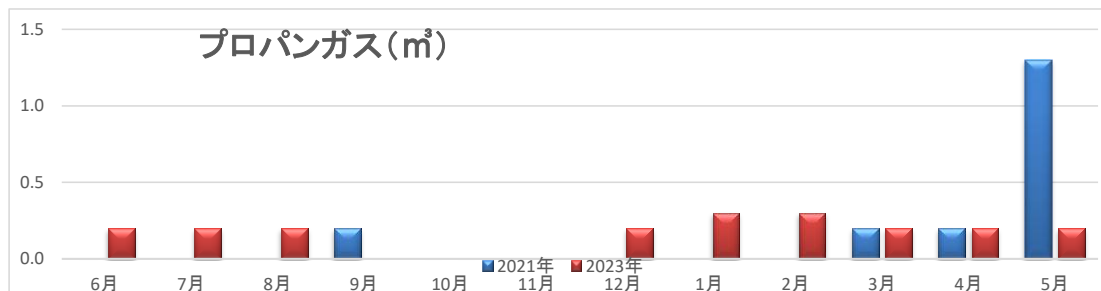
活動: ○よくできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取組み計画	達成状況	取組結果とその評価
電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	月別に見ると目標を達成できていない月もあるが、今期全体では目標を達成出来ているので、次年度も節電に努力する。
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)	○	
・不要照明の消灯	○	
・働き方見直しによる残業時間の短縮	○	
・作業・業務の見直しによる効率化	○	



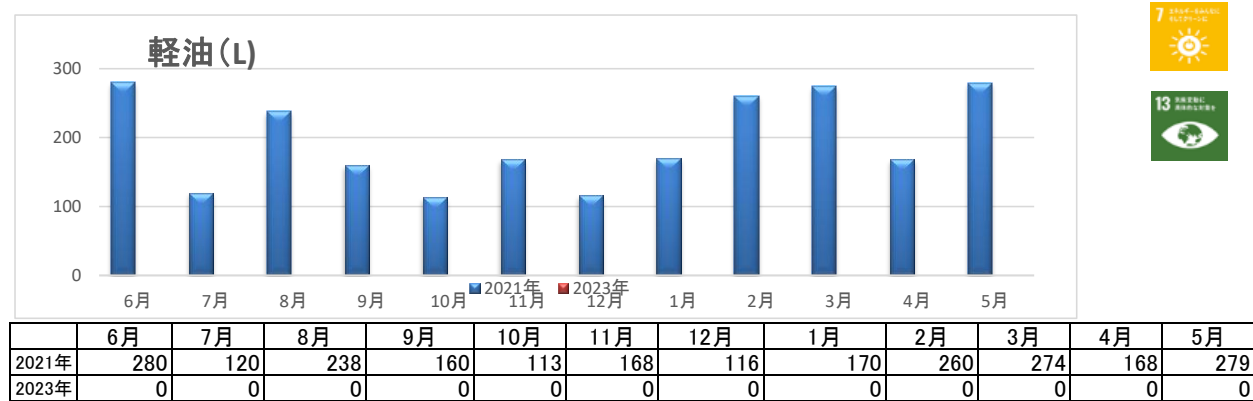
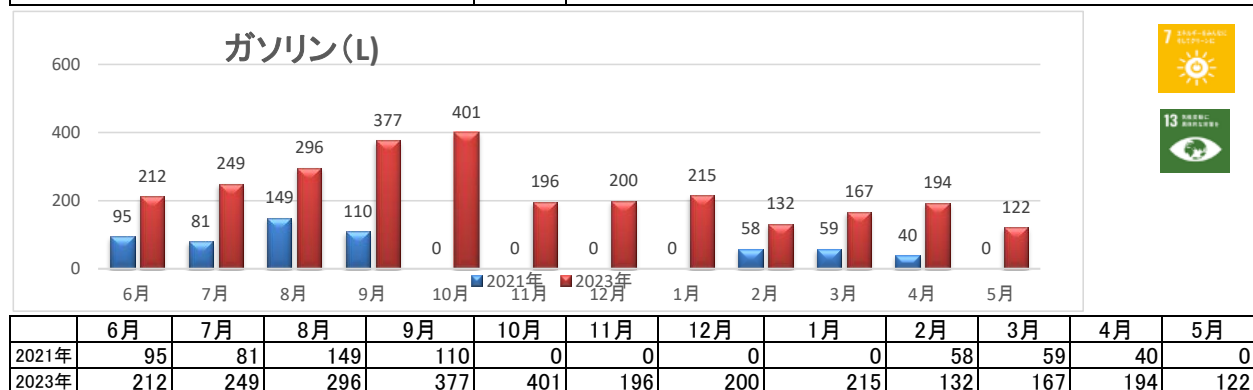
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2021年	4,660	4,225	4,031	6,358	6,441	6,737	6,217	1,717	1,737	1,737	1,558	1,698
2023年	1,581	1,494	1,958	1,947	1,664	1,488	1,626	1,613	1,512	1,461	1,522	1,714

LPGによる二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	今期は達成できた。次年度も節ガスを実践し、目標達成に努力します。
・お湯を沸かしすぎない	○	

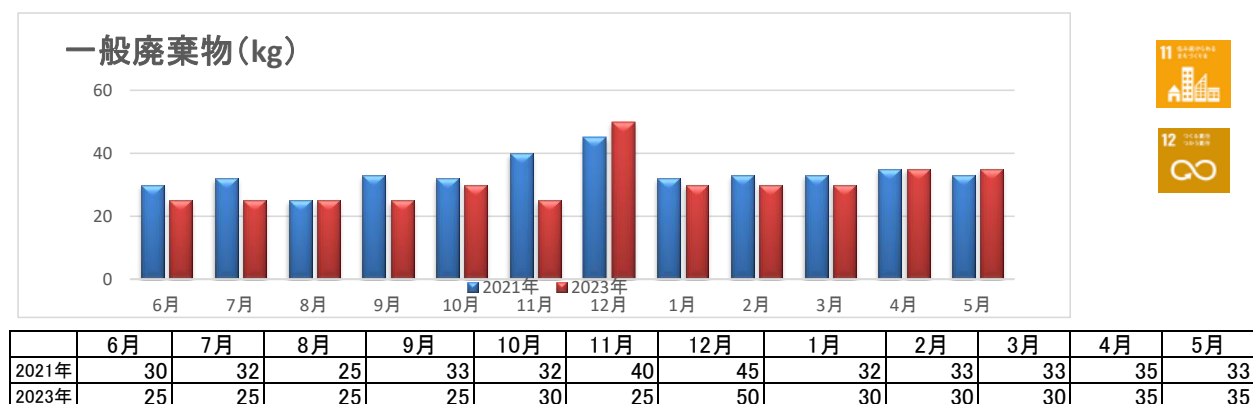


	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2021年	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.2	1.3
2023年	0.2	0.2	0.2	0.0	0.0	0.0	0.2	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2

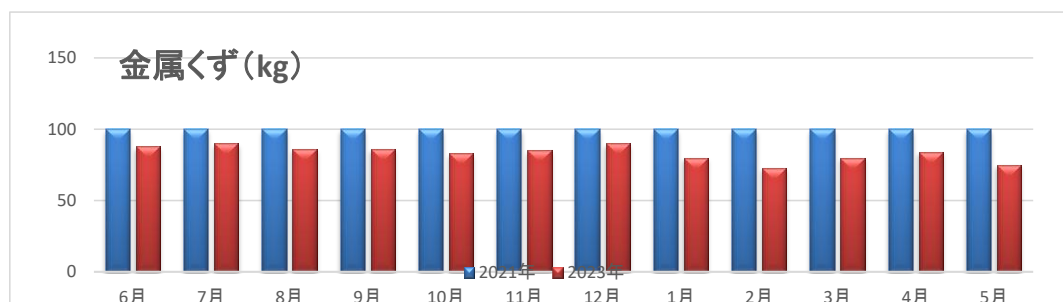
数値目標	○	今期も軽油車両を廃止しており、納品等の運送を外注委託しているの で、軽油使用量がゼロになっている。次年度は軽油使用車両を導入 する可能性もあるので。エコ運転の励行は行っている。
・エコドライブの徹底	○	
・効率的なルートで配送	○	



一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	今期も目標を達成できた。次年度もより一層ゴミの分別と減量に心が けます。
・分別の徹底	○	
・帳票見直しによる印刷物の削減	○	
・梱包材の再利用	○	
・持込ごみの見直し	○	

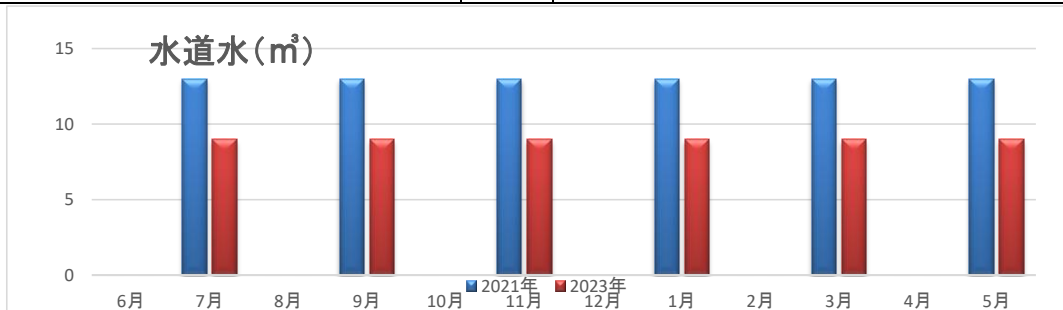


金属くずの削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	今期も産業廃棄物の削減について、鉄くずは、すべて有価物となり、産業廃棄物としての排出量はゼロになった。目標達成により、次年度も製造工程の無駄をなくすように努める。
・作業ミスによる廃棄量の削減	○	
・素材別ボックスの設置	△	
・リサイクル業者の開拓	△	



	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2021年	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
2023年	88	90	86	86	83	85	90	80	73	80	84	75

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	今期も目標を達成できた 次年度も節水に努める。
・節水シールの貼り付けとポスター掲示	○	
・節水弁取り付け	△	



	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2021年	0	13	0	13	0	13	0	13	0	13	0	13
2023年	0	9	0	9	0	9	0	9	0	9	0	9

環境に配慮した安全工事の推進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・工事の効率化	○	主任技術者の高齢化対策として、管理者が引退する前に、技術の継承として若手育成や多様な人材の活躍推進策を強化し、現場や管理職への登用を進めていく。
・作業ミスの防止	△	
・顧客クレーム削減	○	
・廃棄物の再資源化の推進（別項目で実施）	○	



技術の継承と人材育成の取組み	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・技術の継承	△	人材確保と育成に課題があるため、若手採用強化の方法として働き方改革の推進や中堅層へのスキルアップ研修を進めていく。
・企業PRによる顧客獲得	△	
・事業拡大のための資金調達、人材確保	×	
・新製品・商品開発	△	
・働き方改革	×	



事業所の取組紹介



<松原工場>



工場外観



工場外観



工場内全景



ステンレス製加工品

環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の保管、排出、マニフェストの管理
道路運送車両法	車両の大きさ・重量、乗車の保安基準
道路交通法	車両の大きさ・重量、通行制限
道路交通法	車両からの積載物のはみ出し、安全運転管理者等
騒音規制法	空気圧縮機、送風機
振動規制法	空気圧縮機
下水道法	松原市下水排水
消防法（危険物）	消火器の管理、危険物の保管
顧客要求事項	環境管理、品質管理

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

取組期間中、外部からの環境上の苦情・要請等もありませんでした。

確認日：2024年5月25日

緊急事態対応の試行・訓練

緊急事態の想定： 火災の発生	
■実施日： 2024/5/18	■実施場所：工場前駐車場
■参加者： 杉井 二宮 穂吉 柴藤 藤内 辻本	■実施内容：消火訓練
■評価：	■手順書の変更の必要性 ☐ あり ☒ なし
■実施状況の様子 	

代表者による全体の評価と見直し・指示

見直日：2024年5月31日

＞2021年度を基準年度として見直し、環境目標の電力やLPG、自動車燃料による二酸化炭素排出量、一般廃棄物の削減、金属くずの削減、水道水の削減の全項目を達成できた。電力については月別に見ると目標を達成できていない月もあるが、今期全体では目標を達成出来ているので、次年度も節電に努力していく。

・産業廃棄物の削減については、本年度はすべて有価物となり、排出量をゼロにできた。次年度も作業の効率化、材料出しから、寸法切り、製作の段取り擦り合わせまで、無駄なく材料から製品へと作り上げ利用に努力していく。

・カーボンニュートラルやSDGsへの取組が社会的課題となっていることを踏まえ、エコアクション21を活用して、これらの経営課題解決に向けて、全社挙げて推進していく。

＞下記を見直し、変更しました。

①環境保全への行動指針

「5. 化学物質の適正管理に努めます。」について、化学物質の取扱いが無いので削除した。

②課題とチャンスの抽出により、「環境に配慮した安全工事の推進」及び「技術の継承と人材育成の取組み」について目標達成手段項目を策定し、環境経営目標・計画として、環境経営レポートに取り入れた。

環境経営方針

☐ 変更なし

☒ 変更あり

環境経営目標・計画

☐ 変更なし

☒ 変更あり

実績を踏まえて見直すこと

実施体制

☒ 変更なし

☐ 変更あり

□編集後記

・今後も環境目標への取り組みや従業員の安全作業の推進と健康を第一に地域社会の発展と地球環境保全を目指して、従業員一丸となって継続的に改善活動に努めていきます。